

すみた 議会だより



No.164

平成31年
1月25日

「クリスマスといえば
チキンだよね〜」

《世田米保育園》 関連記事P20

12月議会で決まったこと

住民と議員との懇談会

我が町政を問う（8議員が一般質問）

町婦協女性議会

特集「公民館改修補助金制度の充実を」

②

④

⑦

⑩

⑱

エアコン設置



△エアコンがすでに完備されているパソコン室。次は小中学校の普通教室・特別支援教室に設置される。

12月定例会は、12月11日から14日までの4日間の会期で開かれました。一般質問には8議員が登壇し、当局と論戦を交わしました。

本会議では小中学校普通教室のエアコン設置などを盛り込んだ一般会計補正予算、簡易水道・下水道事業、介護保険事業の各特別会計補正予算、条例改正、損害賠償和解など、当局提出の8議案を原案通り可決。消費税増税中止を求める請願を採択し、国などに意見書を提出する議員発議案も可決しました。

学校 冷房設備の財源は 特別交付金を活用

夏の猛暑を受けて、国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特別交付金」などを活用し、町内小中学校各学年の普通教室と特別支援教室に空調設備を整備する。

工費は小学校(2校)が2134万円、中学校(同)が1468万円で、年度内入札を目指す。保健室に関しては、町の単独事業として今後予算化を進める。

問 冷房設備対応臨時特別交付金の用途は。

答 夏の記録的な猛暑を踏まえ、国で補正予算が創設され、小中学校の普通教室と特別支援教室にエアコンを設置しようとするもの。

問 エアコン設置事業に係る交付金の割合と町の実質的な負担は。

答 交付金は事業費の3分の1、残りは教育債を充てる。地方交付税で60%措置されることから、実質的な町負担は事業費の26・7%となる。

問 冷房設備の機種や工事業者の選定は。

答 町の財務規則にのっとり、指名競争入札とし、教室の面積にあった冷房機能を発揮できる機種を選定する。

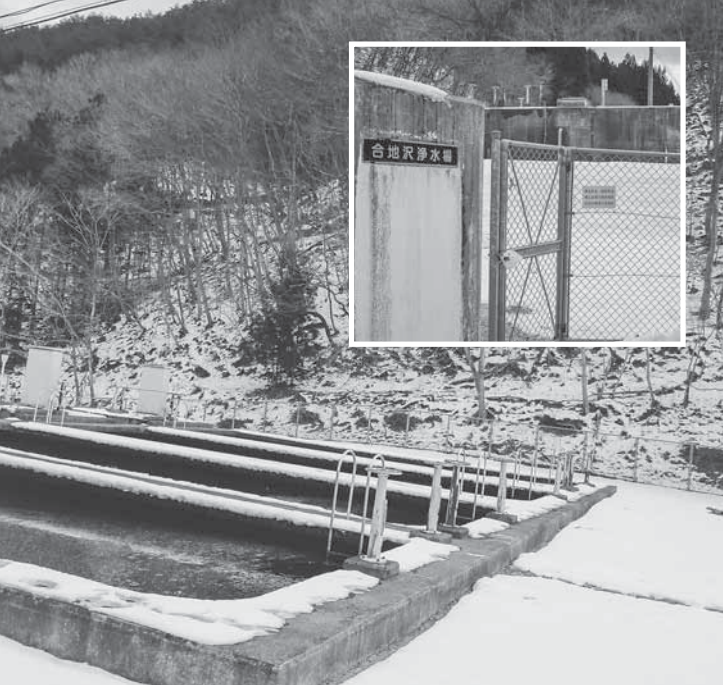
問 保健室へのエアコン設置を急ぐべきだが。

答 国の交付金は、普通教室が対象であり、保健室は町の単独事業で予算化していきたい。



☆平成30年12月補正予算の主な事業

■土地建物購入費	129万円	■養育医療扶助費	70万円
■地域情報通信工事請負費	127万円	■起業奨励金	450万円
■出産祝い金	30万円	■空調設備設置工事費 (小学校)	2134万円
■妊産婦医療扶助費	203万円	(中学校)	1468万円



△市民の健康を守るため、上下水道の水源地は放射線量検査を続けている。現状では安全数値の範囲である。

小中学校の普通教室に 修正予算

例 改正の内容は
条 給与・報酬の引き上げ

■条例改正は国の勧告に基づき一般職給与、特別職と議会議員の給与・報酬の引き上げに関するもの。

問 職員の給与改正の基準は何か。

答 公務員は、労働基本権制約の代償措置として給与勧告制度が設けられている。本町では、岩手県人事委員会の勧告に準じて給与改正を

行っている。

問 民間企業との比較調査の実態は。

答 従業員50人以上の職場を調査し、人事委員会で手続きを進めている

問 本町の給与水準は。

答 ラスパイレス指数で示し、本町は92.7で岩手県33市町村の下から4番目である。

業 奨励金増は
起 新規に4件

問 起業奨励金が増額されたが。

答 新たに4件の相談件数があり、全ての事業化に向けて増額した。

問 大股地区の地域おこし協力隊員が欠員となっているが見通しは。

答 地域の皆さんと話し合いながら、どういう方を、どのような雇用形態がいいのか相談している。

問 地域情報通信基盤施設利活用検討委員会の検討内容は。

答 平成31年9月までに報告書を作成。地域情報通信基盤施設の維持の効率的な推進、ICTを活用した施策、利活用の2点で検討を進めている。

町有林 売払金の減は
伐採面積減少

問 歳入のうち町有林立木売払代金が1296万円減額になっているが。

答 当初見込みより面積、材積が下回ったことによるもので、未納金を抱える木工2事業体の動きとは関係ない。

皆さんからの
陳情
請願

採択

◎国に対して『消費税増税の中止を求める意見書』の提出を求める請願

【請願者】

・気仙地域労働組合連合会
・大船渡民主商工会
・全日本年金者組合大船渡支部

【主な内容】

2019年10月の消費税10%引き上げ中止を求める意見書を、日本政府に対して提出するよう請願する。

全員賛成

採択

意見書提出

【意見書提出先】

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣

原発事故 和解

請求額の71.2% 55万円

東京電力原発事故対策に要した費用の損害賠償請求のうち、東京電力ホールディングス(株)が請求に応じない費用について、原子力損害賠償紛争解決センターから和解案の提示があり、和解するもの。

問 該当年度と請求額はいくらか。

答 平成25～26年度分の77万2858円。



住民と議員との懇談会

町政課題に厳しい声

議会では、「開かれた議会」「顔が見える議会」を目指し、「住民と議員との懇談会」を毎年開催しています。平成30年度は、11月13日から27日まで、11自治公民館で開かれました。懇談会は、自治公民館との共催で、議員3人で班編成し対応。議会の活動状況や町政課題、議会の活性化など貴重な意見交換となりました。主な項目を要約して報告いたします。



△安全を確保したい「町道小枝坂」

早期の対応は難しい状況。応じ計画的に進めるが、

A 緊急度・利用頻度・通行の安全確保などの観点から、優先度に応じ計画的に進めるが、

Q 小枝坂の日向側の町道が狭く危険。

町道改良

中沢

11月13日

出席者 10名



△トイレなど改修が望まれる文化活動の拠点「農林会館」

・人口減少対策
・昭和橋架け替え

Q その他のご意見・要望

・河川巡視
・簡易式の洋式便座設置で対応。

が必要。老朽化に伴う補修も併せて検討。当面は

A 農林会館の女子トイレを洋式に。洋式化は多額の費用や広いスペース

時の緊急車両の通路とな

A 芝生とゲートポール場間の道は、災害

Q 河川公園の使用していないゲートポール場一面を、グラウンド

A リハビリ施設の利用には、内部改修や器材整備など、多額な費用がかかる。慎重な検討が必要。

Q 旧JA世田米支店を譲り受けて活用してはどうか。

A 介護予防につながる健康施設として、

Q 旧JA世田米支店を譲り受けて活用してはどうか。

A リハビリ施設の利用には、内部改修や器材整備など、多額な費用がかかる。慎重な検討が必要。

Q 旧JA世田米支店を譲り受けて活用してはどうか。

A リハビリ施設の利用には、内部改修や器材整備など、多額な費用がかかる。慎重な検討が必要。

愛宕

11月13日

出席者 15名

健康施設



△地域での活用を探る「旧JA世田米支店」

る。現状での使用は可能。その他のご意見・要望

・町道管理
・国保税の算出基準
・昭和橋架け替え

として支援している。

A シカ、イノシシ、サル対応の金網電牧防護柵

Q シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

A シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

Q シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

A シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

Q シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

A シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

Q シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

A シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

Q シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。

A シカ網と電気柵を町全体で取り組むべき。



△シカ、イノシシ、サル対応の金網電牧防護柵

・木造町建築物管理
・町道の道路改良

Q その他のご意見・要望

・コミュニティバス運行

・木造町建築物管理
・町道の道路改良

A 建物老朽化が激しいことから、平成31年度に改修工事の設計業務委託を予定し、計画的に改修を進める。

Q アンルス建設から20年。雨漏りなど様々な修繕が必要な時期。



△老朽化が目立ち、改修が待たれる「アンルス」

公平な行政サービスを求めて



△舗装の要望があった河川管理用道路

その他のご意見・要望
 ・空き家対策
 ・昭和橋架け替え
 ・国道340号工事

A 現在、本町から大崎の防火用水全体で、改修計画を進めその中で検討する。

Q 大崎交差点の側溝に段差、除雪の雪が流れない。水量管理を。

A 管理用通路は河川管理を目的。路面は砂利道となる。

Q 街裏の気仙川管理道路の舗装を。

河川管理道

曙

11月15日
出席者 13名



△生徒減少で懸念される部活動

Q コミュニティバス 時間割と列車の間帯が合わず待ち時間が

コミュニティバス

寒倉

11月17日
出席者 13名

A 地域の状況や歴史、施設の状態と保護者の考え方などを考慮しながら検討する。

Q 中学校は生徒数が減少しクラブが独自でできない状況。統合は。

A 施設の特徴や歴史、施設の状況と保護者の考え方などを考慮しながら検討する。

中学校統合

川口

11月17日
出席者 16名



△利便性が望まれるコミバス

その他のご意見・要望
 ・県道のコース検討
 ・昭和橋架け替え

A 長い。時間調整を。町コミュニティバスとJR釜石線の接続は、ダイヤ全体を総合的に検討し改善を図る。

・気仙川と沢の洪水対策
 ・川口交差点の混雑解消
 ・竹の原地区の歩道設置

Q 広報すみたの人口と、新聞の人口推計速報の人数の違いは。

A 速報は、国勢調査の人数を基に、転出入・出生などの異動を加減したものの。広報すみたの人口は、住民登録人数。

Q 広報すみたの人口と、新聞の人口推計速報の人数の違いは。

A 速報は、国勢調査の人数を基に、転出入・出生などの異動を加減したものの。広報すみたの人口は、住民登録人数。

外館

11月20日
出席者 9名

Q 清水沢のタリマタ沢は、洪水で国道の通行に支障がでる。

A 国・県・町道の新設は難しい状況。ソフト面を含め対策を検討。

Q 川口、清水沢は国道1路線のみ、災害時に備えて2路線が必要。

災害時の交通確保

東峰

11月20日
出席者 9名

A 安心して生活のため広域化は重要と認識。今後、気仙圏域だけでなく、遠野病院を含

Q 医療の広域化を未来かなえネットも含めて進めるべき。

A 安心して生活のため広域化は重要と認識。今後、気仙圏域だけでなく、遠野病院を含

医療広域化

外館

11月20日
出席者 9名



△大雨で洪水が不安「タリマタ沢」

その他のご意見・要望
 ・昭和橋架け替え
 ・旧住田分署跡地利用
 ・住高生放課後学習支援

A 県は、早期の整備は難しい状況。町は沢の増水に対応した国道改良を県に要望。

・旧下小の校舎利用
 ・楽しむ農業推進

Q 旧JA畜産会館や旧アリスの建物の

A 旧JA畜産会館は解体する方針だが時期は検討中。旧アリスの建物は貸付。使用予定のない土地は地主に返還。

Q 旧JA畜産会館や旧アリスの建物の

A 旧JA畜産会館は解体する方針だが時期は検討中。旧アリスの建物は貸付。使用予定のない土地は地主に返還。

めた中部医療圏内とも連携できるよう進めたい。

旧JA畜産会館や旧アリスの建物の

まちのこえ

議会では、議会活動や町政に関する情報を報告、説明をしました。

今回は、木工2事業体との調停不調とその後の対応、公共交通・医療・道路整備と環境・昭和橋架け替え計画・洪水対策・河川改修など幅広く意見交換が行われました。

▷生活の基本「安全な水」



Q 水道事業の民間委託は考えていない。託は考えていない。

A 町直営で安全な水を提供。その他の意見・要望

- ・「コミュニティバス運行
- ・昭和橋架け替え
- ・町林業の見直し

▷ふるさと納税・住田のつご返礼品



Q 水道事業の民間委託は考えていない。託は考えていない。

A 町直営で安全な水を提供。その他の意見・要望

- ・河川敷の立木処理
- ・ふるさと納税返礼品



△木造庁舎とマッチしている庁舎前芝生

Q 防災広場としての活用を目的として整備したものである。

A その他の意見・要望

- ・河川敷工事
- ・ラジオ受信難聴対策
- ・介護輸送体制

■平成30年度住民と議員との懇談会

開催日	自治公民館名	出席者(人)		
		男	女	計
11月13日	中沢自治公民館	8	2	10
11月13日	愛宕公民館	12	3	15
11月14日	火の土自治公民館	8	4	12
11月15日	曙公民館	10	3	13
11月17日	川口自治公民館	12	4	16
11月17日	寒倉自治公民館	10	3	13
11月20日	外館公民館	8	1	9
11月20日	東峰公民館	9	0	9
11月21日	両向自治公民館	6	0	6
11月21日	坂本自治公民館	11	1	12
11月27日	月山公民館	8	3	11
	11会場	102	24	126

懇談会では、木工団地2事業体の債権回収問題が、全ての会場で話題となりました。

Q 対策チームの役割は。

A 返済計画など、過去の資料や会議内容などを改めて精査し、最適な手法を探る。議論の内容に応じ経営の専門家らを招きまとめること。

▷地元企業として事業継続と債権償還に向かう木工団地



Q 町民への説明は。

A 対策の方法がまとまった段階で町民へ説明する。

両向
11月21日
出席者 6名

種子法対策

Q 種子法が廃止されたが、県や町の対策は。

A 県は、国に「主要農作物種子法廃止後の種子生産・供給体制の維持」の要望をした。国や県、他市町村の動向を注視しながら対応する。

坂本
11月21日
出席者 12名

融資の顛末

Q 木工2事業体融資にかかると、顛末や経過の記録をまとめ、現状を町民に知らせるべき。

A その都度整理し、まとめていく。事業継続と債権回収が基本であり、機会を捉え説明する。

月山
11月27日
出席者 11名

河川改修

Q 有住方面の河川工事の計画はないのか。

A 県は、平成33年度まで、災害の恐れのある箇所を河道掘削や立木伐採を行う計画。

木工2事業体 債権回収問題

Q 対策チームの役割は。

A 返済計画など、過去の資料や会議内容などを改めて精査し、最適な手法を探る。議論の内容に応じ経営の専門家らを招きまとめること。

Q 町民への説明は。

A 対策の方法がまとまった段階で町民へ説明する。

一般質問

12月
議会

一般質問は、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などを聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねること。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。一般質問の方法は、一回目は一括して質問しますが、2回目以降は一問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は答弁を含めて60分です。

12月定例会では、8人の議員から17件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。質問と答弁を要約した内容は8～15ページでお知らせします。

なお、全文記録（議事録）は、2月下旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

我が町政を問う

行財政運営・木工2事業体 人口ビジョンなどで論戦

ページ	質問者	質問項目
8	菅野浩正	①森林経営管理制度への対応 ②温泉施設の建設
9	荻原勝	①次期「住田町人口ビジョン・総合戦略・総合計画」策定 ②少子化・結婚対策 ③高齢者に対する広報・広聴体制
10	瀧本正徳	①人口ビジョン・総合戦略・総合計画の見直しと人口対策 ②林業振興・魅力向上策
11	村上薫	①今後の行財政運営 ②文化行政と町づくり
12	佐々木信一	①農業振興 ②観光（滝観洞、白蓮洞）振興 ③国道340号等道路整備
13	林崎幸正	①木工団地2事業体の未償還金等の対応 ②滝観洞の再開発
14	佐々木春一	①本町の財政状況と今後の行政運営 ②旧下有住小学校、旧JA畜産会館の活用策
15	佐々木初雄	①高齢化対策



議員のつぶやき

今のままでは…
何かをしなければと
考えている

新たな森林管理の

推進は

町長／意向調査で現状分析

問 第195回通常国会で成立した森林経営管理制度が平成31年4月から本格実施となっているが、本町の事業体制の検討は、

町長 当面は、森林所有者の意向調査による現状分析が大事と考えており、関係機関と連携しながら進める。

問 森林組合・民間事業者との連携体制の構築は、

町長 経営ベースに乗る森林は、意欲と能力のある林業経営体に経営を再委託して実施していくことになっている。現在、

本町でこの林業経営体に属するのは、森林組合と素材生産業者2者が登録となっている。十分な協議をしながら進めていきたいと考えている。

問 意向調査は、

町長 森林管理を行うことが困難な森林、所有者

が不明な森林も一定の手続きを経ることで、所有者から市町村に経営管理を設定することが法的に可能となる。

公的な管理としては、所有者の意向調査により境界確定、担い手などの人材育成、間伐などのシステムを円滑に機能させる体制を整備する。

問 新たな森林管理制度

の施行と合わせ、森林環境譲与税（仮称）の譲与

は平成31年度から行うとしているが、今後の林業

温泉施設構想の検討を 近隣施設の利用状況も考慮



△町民も利用する近隣の温泉施設

にどう活かすか。
町長 本町ではこれまでも、森林整備、担い手対策、木材利用など様々な施策を展開してきた。今

後も情報収集を行い、有効活用できる施策を検討し、更なる林業振興を図っていきたいと考えている。

問 当町の豊富な森林資源、林地残材などを活用した木質バイオマスエネルギーによる温泉施設の建設は、

交流のできる温泉施設構想を検討する必要があると思うが。

町長 温泉施設・温泉水プールが健康維持・健康増進に有効であり、住民の交流に期待ができる施設であることは認識している。近隣自治体の温泉

田町再生可能エネルギー活用推進計画に、施設整備などの構想は登載していない。木質バイオマスエネルギー利用の体制整備に必要な支援を行う計画としている。

ながら、広域的な施設の有効活用も必要と捉えている。

問 町民の健康的で明る



△森林事業の活性化が望まれる



議員のつぶやき

少子化対策に チャレンジすべき

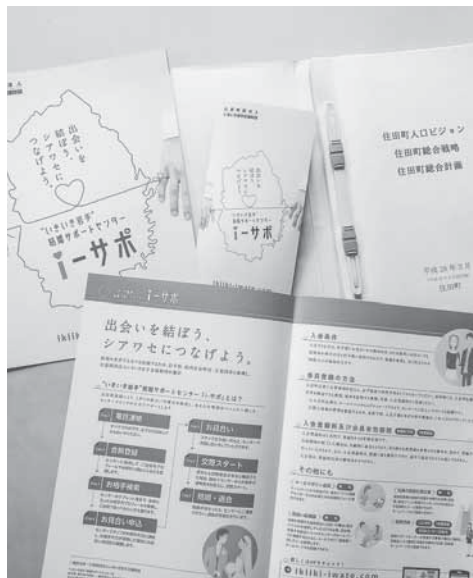
町長／「子育て環境」も人口対策

生涯未婚率は
男性が23.37%、
女性が14.07%
男性が激増中！

我が町政を問う

荻原

勝議員



△人口ビジョン本年度9月改訂版と「iサポ岩手」リーフレット

問 新たな「住田町人口ビジョン・総合戦略・総合計画」の策定に際し、どのような考え方で臨むのか。

町長 現行では、人口ビジョンの目標値（2040年の目標人口4000人）に重きが置かれている。次期では、人口ビジョンを背景・根拠として町の将来像を明確にし、その達成に向けた手法・方策として総合戦略を位置付ける。

問 次期策定では、より前段的な少子化対策として、男女の出会い・カップリング・結婚支援にチャレンジすべきではないか。

大刷新をのぞむ。
町長 結婚をテーマにすればするほど反感を持たれる場合もある。

当町は、若い女性が少ない町。だからこそ、女性が安心して住める子育て環境も人口対策のひとつと捉え、総合的な観点から取り組みを進めた

問 町の結婚相談員制度が終了し、県の結婚相談所である「iサポ岩手」での対応となったが、現状は。
町長 住田テレビでの周知、リーフレットの活用などをやっているが、結果は現れていない状況である。



△困りごと把握から生まれたスマイル おおまた買い物ツアー

高齢者への広聴体制は

困りごと把握に努力

問 「防災すみた広報」が聞こえにくいという高齢者が多数存在している。町の難聴解消対策は。

町長 当町は、集落や民家が沢山に散在している。全町カバーは困難である。防災行政無線施設は全てデジタル化し、防災告知端末はほとんどの住宅に設置されている。

問 今年度は、試験的難聴対策として、五葉地区でのスピーカー交換を実施する。

問 高齢者に対する、町

の広聴体制はどうなっているのか。

町長 当町では、概ね2人にひとりが65歳以上の高齢者である。町関係団体、地区公民館、自治公民館など住民主体の組織の役員、委員等の多くが高齢者に属する方々なので、意見を聞く機会は得られている。

「小さな拠点づくり」の取り組みの中でも、地域の困りごと把握に努めている。



議員のつぶやき

住田らしい 人口増・住対策を

町長／町営住宅整備と循環促進で

思い切った策で
臨むべきだが…



△若者など新たな暮らしの拠点
「住田が誇る町営住宅」

問 若者の移住・定住策として、家賃無料を含めた思い切った住宅施策をすべき。

町長 新たな生活のための住居は、町営住宅・民間住宅・空き家の順と捉えている。家賃無料化といった大胆な優遇策の手法もあるが、生活環境向上とあわせて、空き家改修や町営住宅の整備、居住者の循環促進などに取り組む。

問 住宅と農地・住宅と森林、原野をセットした、住田らしい山村暮らしを示し、移住者増を計るべき。

町長 職員が空き家や土地を紹介する業務を担っているが、斡旋まで踏み込めない体制である。今

後も関係課と連携を図りながら対応したい。

問 教育策として人口減少などの地域課題を、どのように捉えているか。

教育長 地域が抱える課題に向き合い、中長期的な展望に立った施策の展開が急務である。人材育成は、将来に亘り持続可能な町の姿を描く上で、最重要課題であると捉える。

地域創造学は、子供たちが主体的に未来の社会を創造する力と、社会的実践力を育むためである。地域課題を自分事として目を向け、主体的に考えるきっかけとなるものである。

問 施策推進の成否は、

町民との共通理解が前提であるがその周知は。

町長 町広報や住田テレビなどで周知を図っている。

住田の「木・林・山」ホテルを 新たな森林管理システムで



△「森林林業日本一…」住田町のシンボル看板

る。住民が主体的に現状や課題を理解し、今後の町のビジョンを考え、計画の共有が肝要である。

問 「森林・林業日本一」を目指す…スローガン。内外に発信できるこの町の「木、林、山」

のモデルを指定・整備し、住田町らしさを内外に発信すべき。

町長 今は、モデルとなる木や山などの指定・整備の計画はない。新たな森林管理システムや森林環境譲与税の施行に合わせ森林整備を推進する。

問 自伐林家育成のための関連設備を整えるべき。

林政課長 現在、林地残

材収集システムを検討中である。自伐林家育成に繋がると考える。

問 FSC認証材利用の五輪関連施設建設の進む今が、認証材のメリットを示す機会である。推進のため、認証材丸太販売に助成制度を設けるべき。

町長 現在、丸太への町独自の助成制度は計画していないが、認証材のメリットは創出する。今後、森林環境譲与税の木材利用の中で検討する。



議員のつぶやき

経費削減もよいが
いかに自主財源を
確保するかが重要

町長／今後の動向を注視

どう捉える 包括業務委託

我が町政を問う

むら 村上
かみ 薫
かおる 議員

問 陸前高田市が来年度から「行政事務の包括業務委託」導入を表明し、人件費の削減を含め行政運営の見直しを図ることとした。この事をどう捉え、町行政改革を進めて行く考えか。

町長 陸前高田市では、復興創生期間終了後の自立的な行政体制の確立と財政健全化などの手段として選択されたと捉えている。今後の動向を注視して行きたい。

問 今後の財政見通しは。
町長 財政健全化比率



△行政事務の包括業務委託では、一般的に窓口業務は民間委託となる

は、総体的に健全。見通しは、今年度以降しばらくの間は、公債費7億円程度と高止まりとなるが、財政指標が急激に悪化する事態は想定されない。

問 調査票による基金残高は、平成30年度40億1300万円、35年度18億8000万円と減少する

予想となっている。どう対応するのか。

企画財政課長 毎年、開発計画、予算編成の中で事業確定をしていくが、その際財源不足が少なく済むよう調整を図り進めて行く。

問 平成32年度導入の水道、下水道公営企業会計移行による上下水道料金の値上げや財政措置は、いつ明らかにするのか。

建設課長 平成32年4月に公営企業会計に移行の予定であり、前年度までには明らかにする。

上有住地区館改築スケジュールは平成32年度着工



△上有住地区公民館一隣接する民俗資料館と一体的な整備が望まれる

問 教育文化施設である中央図書室を含む生活改善センターと上有住地区公民館の改築は、今後の町文化行政を推進していく上で非常に重要な施設である。整備計画のスケジュールは。

教育長 上有住地区公民館は、平成31年度設計、32年度に改築着工予定。生活改善センターの改築は、上有住地区公民館改築後に町の行政運営の状況を考慮しながら協議を進めていく。

問 地元住民や関係団体への説明と意見交換会は

いつ頃の予定か。

教育次長 新年度、設計前に協議開催する。
問 栗木鉄山の国指定と今後の整備方針、活用計画は。

教育長 今後の予定は、平成32年度に報告書作成、33年度国指定の申請手続き、34年度に整備活用委員会設置、35年度までに整備基本構想策定、36年度以降、現地整備に着手する計画。

問 景観条例の制定を図るべきではないか。
町長 住民の機運、状況を見ながら検討する。



議員のつぶやき

農業体験で
交流人口の拡大に
つなげたいなあ

白蓮洞入洞再開を

町長／入洞禁止を継続

問 東日本大震災以降、入洞が禁止されている白蓮洞の安全性を確認し、入洞を再開しては。

町長 入洞再開には、洞窟の安全性の確認調査、入り口付近の落石の除去、岩塊固定工事、出入り口の階段の改修、インターホンなど非常用設備の設置など、相当の経費が必要になる。当面入洞禁止を継続したい。

問 安全安心農業の講座を計画したが、参加者が少なく中止になった。今後どう

のように進めていくか。

町長 安全安心農業の取り組みを知らせるために、住田テレビで「ワンポイント講座」を放送。



△入洞禁止されている白蓮洞

安全安心野菜を、ふるさと納税の返礼品として取り扱いを始めた。町独自の認証制度を活かしながら生産者や販路拡大に取り組んでいく。

農業体験型メニューを

関係団体と連携で

問 6次産業化に向け、特産品開発講座を開催すべきと思うが。

町長 町独自の特産品開発補助金による、備品購入費や試作品経費など、開発に要する経費を支援している。農業者も含め研修や講座の開催の必要がある場合には対応をしたい。

問 農業体験型で本町の

特色を活かした大人から子供まで楽しめる体験メニューの設定に取り組んでは。

町長 観光協会や民泊協会などが中心になり、体

現道大崎～火石間の改良は 県と協議し整備を進める



△国道340号道路改良を待つ大崎～火石間

験型観光に活用する体験メニューの開発に取り組んでいる。農業体験に関する利用者の需要を踏まえながら、関係する団体と連携し整備していく。

問 国道340号改良に伴い、現道大崎～火石間の道路改良はどうなるのか。

町長 現在測量調査中であり、終了後は県と町で

歩道を含めた区間の整備などを協議し、県で整備するよう進めて行きたい。

問 町道火石川向線の

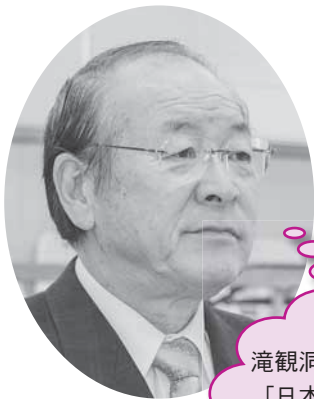
道路にハンブプがあり、除雪がしにくい。取り外し出来ないのか。

町長 今後は、ハンブプに注意し積雪の状況を見ながら除雪を行っていきたい。ハンブプの取り外しは、交通量を把握したうえで、近隣住民の影響を考慮し判断をしたい。



ハンブとは

:道路の一部を隆起させ、通過する車両の減速を促す構造物。(減速帯)



滝観洞の
「日本一」をもっと
活かせないか…。

議員のつぶやき

住民説明会を開催すべき

町長／方向性を見定めて

我が町政を問う

ほしざきさちま
林崎幸正議員



△前回説明会は平成29年7月に5開場で開催された

問 木工団地2事業体の未償還金などの対応は、対策チームを設置し、第一回目の会合を10月31日に開催したが、その内容はどのようなものか。

町長 調停打切りを受け、対策チームを立ち上げた。議会より3名、町長、副町長、担当課職員2名、町顧問の8名が出席し協議した。内容は、設置意義の確認、これまでの経過を再確認、それと今後の進め方の意見交換をした。

問 今後どのように進めていく考えか。

町長 町ができること、2事業体ができることを整理し、町の顧問弁護士や外部の公認会計士のアドバイスも得ながら進めたい。方向性が見えてきた段階で議会とも協議しながら進めたい。

問 木工団地2事業体に関する住民説明会を開催すべきでは。

町長 対策チームを立ち上げたので、説明の中心も協議した上で、方向性を見定めて開催したい。

町長 過去に金石自動車道の整備に合わせて再開発を検討した経緯がある。その際は費用面などから全面的な再開発は保留し、すぐに取り組める施設の改修や集客のための取り組みを進めた。今後とも、誘客に係るソフト事業を有効活用しながら、継続して取り組んでいきたい。

問 滝観洞とその周辺を含めたエリアの再開発をすべき。

町長 過去に金石自動車道の整備に合わせて再開発を検討した経緯がある。その際は費用面などから全面的な再開発は保留し、すぐに取り組める施設の改修や集客のための取り組みを進めた。今後とも、誘客に係るソフト事業を有効活用しながら、継続して取り組んでいきたい。

問 老朽化した滝観洞観光センターを、温泉付き施設に建て替えるべき。

町長 入浴施設は過当競争で厳しい。施設自体の建て替えは、住田観光開発と協議しながら総合的に判断していく。

問 滝観洞入口の改良、出口の新設を検討すべき。

町長 入口はJR金石線の線路に近く、改良は困難だ。出口新設は、洞内の風化・劣化を早めることから慎重に対処したい。

滝観洞エリアの再開発は

ソフト事業を有効活用



△三陸ジオパークのジオサイトとして、町内外からの関心が高まっている滝観洞



議員のつぶやき

町の財布、やりくり上手に。しかし親元(国)から見放されては困るが…

暮らし・福祉を優先して

町長／住民の参画を積極的に



△公共施設等総合管理計画では、改築予定になっている「生活改善センター」

問 本町の財政は、どのような状況にあるか。

町長 平成29年度決算での経常収支比率は85・1、県内4番目の低さ。ここ

数年上昇傾向にある公債費、物件費、維持補修費の増加や地方交付税の減少が影響している。上昇傾向を放置できない

問 地方債残高と実質公債費比率の現状と見通しは。

町長 平成29年度の実質公債費比率は6・1、県内3番目の低さ。地方債残高の増加に対し、実質公債費比率は横ばい傾向。公債費は年間7億円程度で高止まりする見込み。今後の財政指標が急

激に悪化する事態は想定されていないが、引き続き歳入確保・歳出抑制に努めたい。

問 公共施設など各インフラ施設の維持管理や改修、整備に多額の費用が見込まれるが。

町長 今後の財政運営の大きな課題。「公共施設等総合管理計画」の個別計画を策定し、適正な更新に努める。

問 行政改革や職員体制も課題。町民の生活支援、福祉など行政サービス向上を優先すべきだが。

町長 住民の積極的な町づくりへの参画、住民サービスの維持・向上を

勘案し、行政体制の確立を図る。仕事と成果を適正に評価する人事管理や研修により活力に満ちた職員を育成。適正な税収や町有財産の有効活用で自主財源の確保、資金運用による財源確保を図るなどコスト意識を持って行政運営を進める。

問 「公共施設等総合管

理計画」の状況は。

町長 平成29年3月に計画策定。期間は10年間。庁舎や町営住宅、小中学校の校舎などの建築施設、道路や橋りょう、上下水道などのインフラ系施設が対象。管理に関する基本的方針を定めた。情報通信基盤施設は活用検討委員会で検討。

旧下小跡地活用は

地域と話し合いを

問 木造仮設住宅は再来年3月で供用を終了予定。震災前は解体、更地にする予定だった旧下有住小学校の跡地利用の対応は。

町長 仮設住宅に入居利用がある段階では被災者の生活再建を優先。情勢変化もあり、状況を見ながら検討したい。

問 グラウンドは、地域住民によって芝公園として整備していたが。

総務課長 現状復元を基



△旧下小と応急仮設住宅

本に地域と話し合いながら整備する。

問 震災で天井や壁が崩壊した状態の旧JA畜産会館は早期に解体すべき。

町長 危険性は理解している。次年度予算で総合的に判断したい。

問 介護を受けなくて生活できる介護予防対策を強化すべき。

町長 若年期から自分の健康は自分で守る意識づけと、食事や適度な運動の生活習慣の見直しを普及啓発していく。

問 要介護の重度化予防の対策は。

保健福祉課長 認知症予防・介護予防も早期発見に力をいれる。ミニデイサービス、認知症カフェの利用を強化していく。



△よりあいカフェしょうわばし

問 健康で自立した生活ができる身体と、健康寿命を延ばし介護を受ける期間を短くする認知症予防対策は。

町長 認知症は主に加齢に伴い発症。早期発見と早期からの予防対策が重要。認知症になりにくい生活習慣を身につける方

策として、若年期からの食生活や運動習慣と、人と歓談する社会参加習慣が認知症予防に有効な方策。

問 普段外出しないで、知らないうちに認知症が進むのを防ぎ、早期発見・早期治療につなげる対策は。

保健福祉課長 認知症カフェの中心型は町内3か所、地域型は15か所で運営されている。認知症カフェに行く楽しみと張り合いで介護予防につながる。

災害から守る避難対策は 地域の防災福祉マップで



△防災福祉マップ作成の検討会場

介護予防対策の 充実を

町長／食事や運動の 見直しを啓発

高齢者が多くても、
認知症の少ない
元気な町…

議員のつぶやき



我が町政を問う

ささき
はつお
佐々木初雄 議員

問 高齢化が進み、災害時に避難行動に不安を抱く高齢者を災害から守る避難対策は。

町長 各地域において、独自の防災福祉マップを作成し、さまざまな災害を想定し、どの経路でどこに避難するか、地域内で情報を共有し、地区に合った防災福祉マップづくりを進める。

遠い地域に住む高齢者は、日常の買物・通院など非常に困難している。住み慣れた地域で安心して暮らせるための対策は。

町長 路線バスは、関係機関と連携し、通院に合わせた運行となるよう配慮する。訪問看護ステーションの開設に向けた取り組みを進め、在宅医療の充実と通院負担の軽減を図る。

女性議会

今の思い

ちの提案

積み重ねに意義



町婦協会長
小野ちか子さん

準備段階では不安もありましたが、議員になられた皆さんがよく準備をしていたので、スムーズな運営ができました。こうした活動を積み重ねることに意義があるのではないのでしょうか。



泉田淑子さん

柏崎サツ子さん

千葉ひとみさん

高木まゆみさん

紺野栄子さん



佐藤浩美さん

佐々木なお子さん

佐藤晃子さん



水野礼子さん

佐々木まさ子さん

△初の女性議会。女性議員の面々。

提案①

上有住地区公民館の改築

声を生かして

佐藤 晃子さん
(上有住)

上有住地区公民館整備にあたっては、災害時の避難場所としての機能が果たせるような設備など地区民が利用したくなるような施設を望みます。様々な階層の方の声を吸い上げて欲しいです。

優しい施設に

高木まゆみさん
(世田米)

これからまだまだ高齢化率が上がる住田町です。高齢者はもとより、これからの町を担っていく若者、子ども達に優しい施設を希望します。既存の農林会館は、トイレなどの改修が必要です。

くつろぎの場に

千葉ひとみさん
(下有住)

公民館に併設したコインランドリーの設置を提案します。洗濯が終了するまでの時間にお茶や読書などができるスペースをつけると主婦のコミュニケーションの場所になります。

共通理解が大切

紺野 栄子さん
(五葉)

五葉地区公民館も新築しましたが、反省点があります。物置を広く、図書室のあり方、洗濯機の設置場所等々。建物は造って終わりではありません。住民と行政による共通理解が大切です。

初の女

わたした

女性議会

女性の視点で町政課題などを議論して町当局に提案していこうと—

町婦人団体連絡協議会（小野ちか子会長）による初の女性議会は11月22日、町議会議場で行われました。議場に女性や生活者の視点から「今の思い」を響かせ、町政への参画意識を高めました。

提案② 公共交通機関のあり方

高齢化が進行する中で運転免許を返納しても不安なく過ごせる公共交通の充実を望みます。路線バスも少なく、部活動も学校の枠を超えた統合チームの動きが広がり、共働きは大変です。

公共交通の充実
佐藤 浩美さん
(下有住)



△議長を務めた町婦協三役

高齢者の送迎、買い物、所用など「生活の足」として自家用車の大切さを実感しています。ずっと運転を続ける自信はありません。この町で暮らし続けるための交通システムの構築が必要です。

新交通システムを
佐々木なお子さん
(上有住)

大股地区では、路線バスなどの交通機関に不自由しています。「独居・高齢者、障がい者、要介護世帯」などの買い物困難者を対象に「買い物ツアー」の実証運行をしています。援助を期待します。

買い物ツアー実践
遠藤みゆきさん
(大股)

なり手が心配
佐々木まさ子さん
(五葉)
婦人部の活動は、みんなで分担しながら、何かしらの役をこなす、一人で2役を持つこともあります。役員の引き受け手がいなくなるのが心配です。組織活動のあり方を本気に考える時です。

女性の役割って何
泉田 淑子さん
(世田米)
婦人部、女性団体は、会員数の減少やライフスタイルの変化に伴い、役員の選出が課題です。家庭と仕事は生活の基盤です。女性の役割として何が大事か、団体・組織のあり方の検討が必要です。

提案③ 婦人部・女性部の活動

地域で生き生きと
柏崎サツ子さん
(JA女性部)
JA女性部は、食と農を基軸として「健康で地域の中で生き生きとした生活」を目指し、交流活動をしています。農業と食の学習会や地元産野菜を使った料理講習会などの活動姿勢が大切です。

女性が輝く町に
水野 礼子さん
(商工会女性部)
商工会女性部は、商業に従事している女性が社会貢献活動や研修を共に活動しています。事業主の後継者不足で会員の減少が悩みです。「女性が元気で輝く町は栄える」の実践が大事です。

一般質問その後 どうなりました

あの提言

一般質問は、議員に与えられた重要な権限の一つですが、ここでは、一般質問のその後「どうなりました あの提言」として、過去の一般質問や議案審議などが町政にどう反映されているのかお知らせします。

掲載内容は、平成18年以降の質問から議会広報編集常任委員会で1項目を選び、その後の状況などを追跡しました。

特集

町と、議会と、町民は
65

質問

公民館改修 補助金制度の 充実を

公民館への新築、増築及び改修工事に対する補助率の引き上げを。

答弁

新築、改修 工事費に 補助金交付

補助金制度における新築、改修工事が対象で、工事費の40%で500万円を上限に補助が受けられる。

その後



△補助制度を活用し改修された坂本自治公民館大広間

公民館の維持管理費 補助率アップ

新築及び改築は基準経費の40%以内で1,500万円を限度とする。

増築及び一部改修は基準経費の50%以内で500万円を限度とする。

H28年、小股自治公民館・坂本自治公民館

H29年、寒倉自治公民館

H30年、両向自治公民館、それぞれ、トイレ、浄化槽設置、大広間など改修を行っている。



気仙広域連合

気仙地域の発展に向け 岩手県へ要望

気仙広域連合では、広域の重要課題として、13項目を岩手県へ要望活動を実施しました。

平成30年度要望項目

- 1 持続可能な地域公共交通の構築
- 2 高田松原津波復興祈念公園の早期整備
- 3 地震・津波防災対策の強化
- 4 国際リニアコライダー（ILC）の北上山地への誘致及び建設
- 5 放射能汚染された農業系廃棄物対策の強化
- 6 鳥獣被害対策の強化
- 7 医療・介護・保健などの連携支援
- 8 地域医療体制の強化・充実
- 9 被災事業者への支援策の拡充
- 10 広域観光の推進
- 11 三陸沿岸道路などの整備促進
- 12 復興支援道路などの主要幹線道路の整備
- 13 大船渡港湾の復旧・整備と利用促進

傍聴に

来てけらっせん!!

次回の定例会は2月26日(予定)から
開会は10時です。

詳しくは議会事務局へ ☎ 46-3754 (直通)
E-mail gikai@town.sumita.iwate.jp

追跡



私の意見を 聞いて!



トイレを水洗洋式化に

紺野 昇 さん

(上有住字上寒倉)

寒倉自治公民館では、和式便所、小便所で会合のたびに不便を感じていました。

平成29年度に自治公民館改修工事補助金を活用し、簡易水洗洋式トイレ、小便所や流し場のリフォームをすることができました。地域の人たちは大変喜んでいきます。補助金のおかげです。

今後、自治公民館は災害時には避難所となりまので、生活できる環境に整備が必要だと思います。当地域は、災害時には孤立する危険性があり、自活できる措置も考えていかなければなりません。

畳からフローリングに

菅野 和子 さん

(世田米字柏里)



小股自治公民館は、老朽化が進み、床の落下が心配されるなど大きな課題でした。

そこで、平成28年10月に、町の「自治公民館等工事費補助金」を活用し、床の張り替え工事を行いました。自己負担分は地域の方々からの協力金で賄いました。

また、襖や障子の貼り替えは実行委員と有志者で行い改修工事を終了しました。

畳からフローリングに変わった部屋には、長机と椅子、スリッパの寄贈を受けました。使い勝手が良く喜ばれています。



下有住字新切
菊田 富祐さん

私も ひとつこと 甘口 辛口

81



世田米字竹ノ原
泉 加代子さん

宮大工職人の育成を

●今活動していることは

新切農林業振興会の会長をしています。建設業（大工）の傍ら、我が家では、転作田に菜種を栽培し菜種油を採取して、産直で販売しています。

●気になっていることは
地域内には、農地の耕作放棄地や遊休地が増えています。意欲ある農家に利用してもらえればよい

いのですが。

あとひとつは、伝統の大工職人も不足しています。

●議会や町に望むことは
下有住では、遊休農地の解消と利活用を進めるため「そば」栽培に取り組んでいます。そばも菜種も収穫作業が課題です。
宮大工職人の育成も必要です。支援策の検討を。



△新築工事中の住宅

農林会館のトイレ改修を

●今活動していることは

皆様の支えを受けながら、世田米婦人部副会長、町婦協理事、更生保護女性の会幹事を務めています。みんなで、住みたい町にしたいと思っています。

●気になっていることは
多くの地域で、婦人部などの組織の役員選出に苦慮している現実があります。各種組織・団体な

どの役割や活動のあり方を再確認すべき時と感じています。

●議会や町に望むことは
農林会館のトイレの整備（美）は急ぐべきだと思います。町内外の多くの皆さんが利用し、住田町のイメージを奏でるところです。住田らしい清潔感のある会館でありたい。



△文化活動拠点・住田の顔となる農林会館

表紙の写真

世田米保育園



昨年12月21日、世田米保育園で行われたクリスマス会の様子です。この日の給食のメニューは、住田町産の大きなチキン。味、ポリウムに子どもたちも大満足。またこの日は、3人のサンタクロースが園を訪問し、子どもたちにプレゼントを渡しながら交流を深めました。

あとがき

▼明けましておめでとうございます。平成31年の4カ月と新元号の8カ月。新たな切りかえの亥年を、大躍進で駆け抜けましょう。
▼昨年11月の「住民と議員の懇談会」で多くのご意見を頂いた木工2事業体の問題。調停不調を経て、現在は対策チームで検討中です。早期の方向性が望まれます。
▼世中の「地域創造学発表会」に参加しました。生徒たちは今、住田町の良いものを探し、それを町のために活用しようとして

奮闘中です。最初ぎこちなく感じた発表は、だんだん具体性を帯び、最後はぐんぐん可能性を感じさせるものになっていきました。生徒たちの意気込みに感動、先生方のご指導に感謝です。
(荻原 勝)

広報編集常任委員会

議長	菊池 孝
委員長	佐々木春一
副委員長	瀧本 正徳
委員	菅野 浩正
	佐々木信一
	佐々木初雄
	荻原 勝

発行責任者

議長 菊池 孝



すみた 議会だよりNo. 164

平成31年1月25日発行

発行/住田町議会
編集/広報編集常任委員会

〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1
TEL 0192(46)3754(直通) 内線511 FAX0192(46)2018
http://www.town.sumita.iwate.jp